



SSKW すてっぷ だより

編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会

〒379-2164群馬県前橋市東上野町136番地1

TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <http://www.s-step.com> w-step@s-step.com

No.36



すてっぷ後援会総会開催!

—会長のことば—

H21年度すてっぷ後援会総会を4月13日(月)に福祉会館にて行うこととなりました。H20年度のすてっぷ後援会の活動・収支報告と新年度の事業計画等の報告を致します。

後援会総会の後に(株)すいらんグループ代表取締役社長の梅津宏規様をお招きし、『フランス雑学(あなたのフランスイメージは間違っているかも?!)』と題して講演会を開催します。講師の梅津様はフランスの芸術大学大学院修士

研究課程を修了し、フランスにて芸術大学や精神病棟患者の美術カウンセリング指導に携わっていらっしゃいました。フランスの芸術だけでなく、料理・言葉・ブランドなど皆様の興味あることもお話していただけます。是非、皆様で楽しいひとときを過ごしませんか?

すてっぷ後援会総会につきまして、往復ハガキを会員の皆様にお送り致しますので出席・欠席の旨をお知らせ下さい。尚、後援会全会員の3分の2以上の出席または委任状がありまないと総会が成立致しません。ご都合が付かず出席できない方は、欠席の旨を記して頂いた返信ハガキにて委任状とさせて頂きましますので、お手数ではありますが欠席の場合も必ず返信用ハガキをご返送下さい。また、当日に新年度の入会受付も行います。今現在は会員ではないお友達も当日新会員として入会いただき、講演を聞いていただけます。ひとりでも多くの皆様にご参加いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

どうしても欠席となる方は同封の振込用紙にて会費の納入を宜しくお願い致します。

【日時】

4月13日(月)

10:00～ すてっぷ後援会総会

10:30～ 梅津宏規氏講演会

『フランス雑学(あなたのフランスイメージは間違っているかも?!)』

【場所】

前橋市総合福祉会館 2階 社会適応訓練室



H21年度後援会費の納入をお願いします

年会費 個人 2,000円～

(1口 1,000円、2口以上)

法人 10,000円～

(1口 10,000円、1口以上)

すてっぷ後援会

会長 猿木素子



Mother's Kitchen & Shop Open

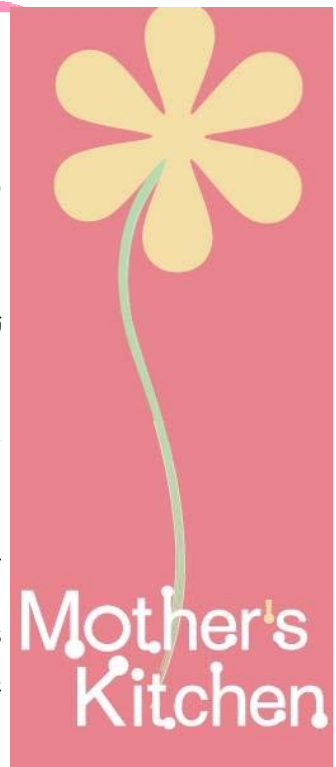
(県立県民健康科学大学 学生食堂、購買)

社会就労センターぴいすでは4月から群馬県立県民健康科学大学(前橋高校の北にあります。通称「健科大」、旧県立医療短期大学)の学生食堂と購買を委託運営することになり、利用者さんの働く場所が新しく増えることになりました。

学食は「バランスの良い食事が、心も体も美しいあなたを作ります。学食はおかあさんのかわりにあなたに愛情を注ぎます。」をコンセプトにして「Mother's Kitchen」と命名しました。カフェテリア方式(選択制)で主菜や副菜を自由に選んでもらいます。購買(Mother's Shop)の方では県立女子大同様すてっぷの焼きたてパンの販売も行います。

県立女子大のぴいすきっちゃんも同様のコンセプトで、4月からカフェテリア方式にリニューアルします。

お近くにお越しの際には、健科大 Mother's Kitchen、県女 ぴいすきっちゃん、peace cafe にぜひお立ち寄り下さい！



ぴいすでは県に提出した「工賃引き上げ計画」に基づいて利用者さんの平均工賃を平成23年までに30,000円(平成20年度平均工賃24,065円)に引き上げるべく、県立女子大の学食、購買、カフェ、清掃、健科大の学食、購買、それとリサイクル事業に取り組んでいます。設備の関係で休止していたバイオディーゼル(食用廃油からディーゼルガソリンを作る作業)も新年度から再開します。

社会就労センターぴいす
施設長 新井 亘

施設から1歩外へ

わーくはうす すてっぷでは、平成20年4月より施設外就労を始めました。

これは群馬県で初めてのケースということもあり、県担当者と協働し、申請書類を準備して開始となりました。

現在、力丸工業団地内(前橋市)にある 株式会社 渡辺リネン さんの工場の一部で4名の利用者さんが、毎日汗を流しています。

作業内容としては、主にタオルたたみで、1日に約3000セット仕上げます。これまで延べ8名の利用者さんが施設外就労へチャレンジし、内2名の方がとらっぱの就労移行事業へ移動し、1名の方は3月に就職内定が決まりました。

施設外就労で、より就労の形に近い環境で作業を行うことで次のステップへの自信が持てるようになった結果です。また施設内作業ではなかなか上がらなかった工賃UPへもつながりました。

施設外就労とは…

施設内で作業を行うのではなく、実際の工場や会社(施設外)に行って作業を行うことで、会社と業務委託契約を結びます。会社側からは、作業場所や機器を提供していただくだけで、作業指導は、こちらからスタッフが同行し支援します。



わーくはうす すてっぷ
木村 念伸

事業所を募集しています。

軽作業の施設外就労をさせて
頂ける事業所を募集しています。
ご協力頂ける所はすてっぷ
までご連絡ください。

ホーム宿泊練習！



昨年7月から“ホームで生活したい！！”という利用者さんが集まり、2か月に1度、ホーム宿泊練習中です。(男性ホーム4人、女性ホーム5人)

夕飯の買い物に行ったり、冬には炬燵を囲んでみんなでテレビを見たり、カードゲームを楽しんだり・・・、ごはんを一緒に食べ、お風呂に入り、ひとり一つの部屋で夜は寝て・・・

男性チームは、お風呂の湯はりや掃除、部屋の掃除、衣類の洗濯もやっています。

スタッフも悪戦苦闘しながら、よりよい世話人を目指しています。

“ホームで生活したい”という希望をかなえるために、皆さんご協力お願いします。

只今、ホームの賃貸物件を探しています。(賃貸アパートまたは一軒家)

家賃12万～15万、部屋が5～6部屋(6畳くらい)、キッチン、共有スペース有
アパート、マンションの3DKが2部屋セットでも可
場所は片貝町付近。

福社会館からメゾンすてっぷまでの範囲であれば尚いいです。

ご協力、ご紹介頂ける方はすてっぷまでご連絡ください。

社会就労センターぴいす
上村 佳子



卒業おめでとう!



小学部2年生から中学卒業の8年間、放課後の時間をすてっぷで過ごしたMさん。今年で卒業です。まだクラブに入会する前の1年生だったMさんは、学校迎えに行った「すてっぷ号」の前をお母さんと通るたびに立ち止まり、これからクラブに行く車内のメンバーの方を見ていたそうです。当時のスタッフは「きっと、一緒にクラブに行きたいんだろうな。」と思っていました。2年生になりクラブに入会。まだ小さかったMさんは、スタッフと一緒にトランポリンや自転車乗り、おやつ作りをするのが大好きでした。小学部高学年にもなると、メンバーがする遊びをよく見て真似するようになったり、ゲーム遊びに参加できるようになりました。「皆と一緒に」の心地良さや楽しさが感じられるようになったのですね。そして中学部。自分で何でもしようとして「1人でできるもん!」と、ちょっぴり大人びた姿をみせてくれるようになりました。嫌な事は「嫌!」とはっきり伝えられるようになり、自己主張することも大きな成長の一歩だと感じさせてくれ、嬉しくさえ思える時間でした。そんな中、ある変化を発見しました。それはメンバーとの関わり。はじけるような笑顔で笑う Rちゃん。Mさんより2つ年下です。クラブの車に乗ると二人で顔を見合わせて「わっははは」と笑っているのです。「今日もクラブで一緒だね!」「うれしいね!」とお話しているようでした。時には顔を近づけて「嬉しいね!」を伝え合う時もありました。「人と関わる事の喜び」を二人は持ち前の満面の笑顔で伝え合っていました。嬉しい!と思える心と心が繋がり合うって、こんなに素敵なんですね。そしてもうひとつ。メンバーの一人に恋をして、ほっぺを押さえて恥ずかしそうにはにかむ姿も見せてくれ、私達スタッフの心を温かくしてくれました。

いよいよMさんのクラブ最後の日。いつもは体育館の中でしかできなかった自転車乗りですが「本当の風を感じて走らせてあげたい」とスタッフ間で話し合い、皆で公園へ行きました。朝からの強風もMさんの卒業を祝うようにピタリと止み、メンバーが一人ずつ順番に乗って、スタッフが走らせます。どの子も嬉しそう!いよいよMさんの番。はやる気持ちを抑えつつも自転車に乗りました。いざ!本当の風を!「じゃいくよ」スタッフの声に「はい」と言ってスタート!この瞬間の笑顔は最高潮。スタッフが後ろから足をつきながらこいでいきます。Mさんは口を大きく開けて空気を吸い込みながら、どんどん風をきって「うわあ〜」という声と共に笑顔で走ります。体育館では味わうこと



のでできない、デコボコや上り坂、下り坂。そして風の臭い。あまりに楽しんでいるので、次の順番を待っているY君に交代できるのかな?と、ちょっと不安になりました。「次のY君に交代お願いできますか?」と聞くと「はい!」と笑顔で返事をし、自ら降りて「どーぞ」と。流石!最年長のお姉さん。クラブ終了時、大好きだったRちゃんが玄関でかけよると、Mさんは目を見ながらRちゃんの頭をなでて笑顔でさようなら。

クラブに入会したてのMさんはスタッフといることによって安心して好きな遊びをしていたのが、皆と一緒に過ごすことで、新しい遊びに挑戦できたり、自分でできると自信を持ったり、心の成長を沢山見せてくれました。大好きなお友達もでき、仲間意識を持つ中で譲れる気持ちも芽生え、人と関わることの喜びを感じて成長した姿は、Mさんの笑顔と共に輝いています! Mさんの笑顔の中にあるような「満タンな心」を一人一人に目指して行きたいと思いました。Mさん、最後にとっても大切なことを私達スタッフに教えてくれてありがとう!卒業おめでとう!すてっぷスタッフはずっとずっとMさんの応援団(Mさんのお母さんの言葉を借りて言わせて頂きます)です。

すてっぷ 放課後クラブ 本多 厚子



ー研修報告ATACカンファレンス京都ー

12月6日7日

鬼形 朋宏

ATACカンファレンスとは・・・

運動障害・視覚障害・聴覚障害・言語障害・知的障害・自閉症あるいは病気や高齢のためコミュニケーションや生活に不自由を感じておられる人々のコミュニケーション技術や、パソコンなど電子機器を用いた生活支援技術をわかりやすく、実践的に、体系的に紹介する会を目指して1996年より毎年開催されています。セミナーだけではなく、展示あり、ライブショーありの自由な雰囲気会の会です。

今回のATACの中から、2つのセミナーを紹介したいと思います。

◎「選択からコミュニケーションへ ～コミュニケーションシンボル導入の技法～」

教育や福祉の場で自己決定を引き出すコミュニケーションの重要性が求められています。自己決定といっても相手の能力を正しく把握しておかないと十分な支援はできません。

《実習》となりの人と2人組になり、一人は言葉の理解ができない人に、もう一人は支援する人になって下さい。支援する人が「リンゴとミカンはどちらが好き？」と尋ねてください。

当然、言葉は理解できないので聞いても分かりません。文字に書いても分かりません。

それは言葉と実物が結びついていないので選択することは出来ないからです。

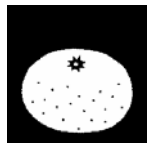
実物が眼前にあれば選択できます。その時にコミュニケーションシンボル

(写真または絵)を同時に提示し、シンボルと実物を結びつけられる コミュニケーションシンボル
ような経験を積み、最終的にシンボルで選択できるようにする。

自己決定で選択する場面では、コミュニケーションシンボルや
指さしを利用できるようにすることにより有効な支援が行えます。



リンゴ



ミカン

◎「YES/NOコミュニケーション技法の正しい理解」

YES/NOコミュニケーションは障がい者支援をする上で、とても有効な手段です。しかし「質問の意味の理解」「YESとNOの違いの理解」をしっかりと出来ることが前提です。シンボルの活用と同様に経験を積み重ねることによってより有効な手段になります。

《実習1》となりの人と2人組になり、今食べたいものを聞き出してください。まず一人は部屋の外に出て、残った人に対して「全ての質問にハイで答えてください」とルールを決めます。質問者が室内に戻り、聞き始めるがハイとしか言わないため、食べたいものは分かりません。疑問に思った時点で、例えば「石が食べたいですか？」などあり得ない質問することによって、ハイとしか答えられない事を確認します。その後は言葉ではなくシンボルや指さし等に技法を変えていく必要があります。

《実習2》役割を変え、残った人に「身体の中で動かせるのは右足の親指だけです。ハイの時に動かしてください。」とルールを決める。質問者が室内に戻り聞き始めるが全く動かないため困惑します。質問者は必ず相手の顔を見ながら質問し反応を読み取ろうとします。そこが落とし穴。「障がい者は顔で返事をするとは限りません。」とヒントを与えたことによって、親指の動きに気付いた人たちはカテゴリーを絞り込んだり、50音を使ったりしながら質問のコミュニケーションを組立てていけました。

上記で紹介したケースは2日間のセミナーに於けるほんの一部です。

会場には業者によるブースも設けられ機器の紹介もありました。

ATACカンファレンスに参加することによって、自分自身の日々の支援を振り返り、今後の支援に生かしていきたいと思います。



4月29日(水) 大すてっぴ祭り開催します!!

毎年恒例になりましたすてっぴ祭りですが、今年はすてっぴ設立10周年を記念して、大すてっぴ祭りをを行います。地域交流、利用者工賃アップという目的はいつも通りですが、今まですてっぴがお世話になった方々をご招待して感謝イベントも行います。

今年はいつもの大道芸、100円屋台村の他に地デジ液晶テレビ、電動アシスト付き自転車、ディズニーペアチケット等のあたる抽選会も予定しています。

ご家族、ご友人お誘い合わせの上ご来場頂き、すてっぴ祭りをたっぷり楽しんでいってください。

チケット販売、宣伝(ポスター掲示)、当日のボランティアにご協力して頂ける方も募集しております。詳しくはすてっぴ祭り実行委員会までお問い合わせ下さい。

TEL:027-290-6161

第4回 SELP SHOP in けやきウォーク

去る2/28(土)・3/1(日)の2日間、けやきウォーク1階けやきコートにて第4回SELP SHOPが催されました。すてっぴを含む11の施設が集まり、それぞれの製品を出品しました。

ワークショップでは「フェルトを使ったおひなさまづくり体験」の場を設け、20名の方にご参加いただき、特にお子様に人気を得ることができました。

今回、販売で参加し感じたことは、回を重ねるごとに各施設の製品およびディスプレイ、ポップづくりに工夫がほどこされていたことです。

ただ、不景気の影響もあるのか、残念ながら売り上げは前回に比べ下回る結果となりました。

次回のSELP SHOPは秋口を予定しています。多くの方々に足を運んでいただけるようさらに努力していきたいと思っております。



わーくはうす すてっぴ 谷川

全体売上
566276円
すてっぴ売上
199023円

・わーくはうす すてっぴ	〒379-2164 前橋市東上野町136番地1	TEL 027-290-6161
・社会就労センターぴいす	〒371-0032 前橋市若宮町4-2-17	TEL 027-236-0303
・とらっば	〒371-0017 前橋市日吉町2-17-10	TEL 027-219-2525
・ヘルパステーションすてっぴ	〒379-2164 前橋市東上野町136番地1	TEL 027-290-2233
・ケアホームRUN	〒371-0017 前橋市日吉町2-29-4	TEL 027-234-3321
・ケアホームRUN (メゾンすてっぴ内)	〒371-0004 前橋市亀泉町3-83	TEL 027-269-7444
・メゾンすてっぴ	〒371-0004 前橋市亀泉町3-83	TEL 027-269-7444
・前橋市障害者生活支援センター	〒371-0017 前橋市日吉町2-17-10	TEL 027-236-0001
・ワークセンターまえばし	〒371-0017 前橋市日吉町2-17-10	TEL 027-231-7345
・サービスステーションすてっぴ	〒370-3523 高崎市福島町782-1	TEL 027-372-3456